

ライブ
LIVE
レポート
REPORT

個人投資家のための IRフォーラム2016 winter

～ニッポンの未来を豊かにする企業～

セミナー会場



5975

東プレ

東プレ株式会社



代表取締役常務 松岡 邦和 氏

～未来を変えるモノづくり～

技術と製品

- **高張力鋼板(ハイツ材)のプレス加工技術**
 - ・1935年に独立系自動車部品メーカー、「東京プレス工業」として創業し、1985年に「東プレ」へと社名を変更しました。
 - ・薄くて固い高張力鋼板(ハイツ材)のプレス加工で、世界トップクラスの技術・ノウハウを持っています。
- **1999年から業績拡大路線へ**
 - ・1999年に当時、当社売上の約30%を依存していた日産の社長にカルロス・ゴーン氏が就任し、調達先を絞る方針が発表されました。これを契機に、当社は国内外に新工場を建設し、拡大路線へ転じました。
- **コンビニ配送に不可欠な冷凍・冷蔵車**
 - ・当社は冷凍装置とコンテナの一貫生産を国内で初めて実現しました。近年はコンビニ配送等に不可欠な冷凍・冷蔵車の売上が伸び、2017年3月期には売上全体の27%を占める見込みです。

自動車機器、冷凍車、共に成長

- **市場変化への対応**
 - ・当社は、「市場変化への対応」、「新規商品の開発・販売」、「既存事業の再認識と再構築」、「業界No.1の品質に挑戦」、「挑戦による人材育成」を第13次中期経営計画の基本方針としております。
 - ・自動車機器分野では「車体モジュール開発メーカー」として成長し、業界に必要とされるグローバル企業になる、商品事業分野では「新商品の開発と商品力向上により新しい市場を開拓する」ことを進めてきた結果が、近年の業績急成長へと結実しています。
- **東プレの成長戦略**
 - ・現在、2017年3月期を最終年度とする第13次中期経営計画を進めています。2014年3月期と比較して、今期売上高は44%増の1,610億円、営業利益は40%増の190億円を予想しています。
 - ・7年前の2010年3月期と比較すると売上高は230%増、営業利益は410%増と急成長しています。

2017年に4つの建屋が稼働開始

- **国内基盤の強化**
 - ・2016年1月に「東プレ東海」を設立し、東海地方にプレス加工の生産拠点を果たすことで、東海地区の完成車メーカー様への事業拡大を期待しています。
 - ・定温物流関連事業において、より強固な供給体制を構築すべく、栃木事業所の第4工場新設、広島事業所の冷凍・冷蔵車専用工場化を行っています。
 - ・販社であるトプレックでは、2017年春の稼働に向け、埼玉サービスセンターの建設準備も進めています。
- **さらなるグローバル展開**
 - ・当社グループは、プレス関連製品事業において、自動車メーカー様のグローバル展開にともない、海外拠点を拡大してきました。現在、アメリカとメキシコにおいて需要拡大に対応すべく拡張を進めています。
 - ・東プレアメリカでは2017年3月の稼働開始に向け、完成車メーカー様の拠点があるスマーナ地区で新工場を建設中です。
 - ・東プレメキシコでは第2次設備投資として、工場の拡張工事を進めています。新規導入の大型プレス機の一部で試運転が始まっており、2017年9月の稼働開始を予定しています。

設備投資はキャッシュフロー内

- **利益急成長で自己資本比率62%**
 - ・増産投資を進める一方、利益が順調に拡大しているため、設備投資は減価償却を含むキャッシュフローで賄うことがほぼできています。そのため、借入を増やす必要はなく、自己資本比率は62%と財務状況は強固です。
- **安定・継続的な配当と株主優待**
 - ・安定的かつ継続的な配当を実現することが、当社の配当に関する基本方針です。2017年3月期の配当は前期から3円増配し、40円を予想しています。
 - ・当社では、より多くの株主様に中長期的に保有していただくことを目的とし、株主優待を実施しています。
 - ・具体的には、毎年一回、6月下旬に、保有株式数と保有期間に応じて、当社オリジナルのクオカードを贈呈しています。